第百九十八號 NAMBEI SH 18 de AGOSTO de 1938

Dr. Seichiro Guigikura
Rua Gabriel Passos - 407
capital

週刊南米

サンパウロ市ピレーズ地
モッタ三八一番
發行所 南米新報社
購讀料 一年 二三〇
廣告料 一段 六〇ミルレイス

清 東麒麟 東 鳳

●法律上の御相談は？
座喜味法律事務所へ
聖市カルモ街一八
三階四〇一四一號
電話二一四三五八

## 言論

# 慰問袋屋を警しむ

### 慰問の眞精神を沒却するな

○

全伯中央日本人會から出征皇軍慰問袋を募集、この聲に應じて各地散在の日本人會が小學校生徒や青年團を動員して、募集の爲めに戸別訪問をさせて居るのは實に奇特なことです、多羅間慰問使が出發される日もいよ〳〵迫つて居ることですから、出來るだけ大車輪で各日會幹部諸君の御骨折を願ひ、一袋でも多く集めて戴き在伯同胞祖國愛の微衷を表はして貰ひ度いものと念じて居ります。

○

此の前に紙上で一寸申上て置まましたやうに斯樣な機會を善用して我々第二世の胸奥に『母國——日本——皇國精神』への芽生に資する事が出來たなら、一層慰問袋の精神に副ふものが有らうと思ひます、依つて慰問袋は成るだけ子供に任せて作らせ、又慰問の手紙をも書かせるやうにしたら、どうかと存じます、國運を賭し戰ふなんて事はそう度々有るもんでは無い日頃我々が思ひ惱んでゐる二世の精神的開發と云ふ問題が、たま〳〵未曾有の非常時にめぐり合はせてゐる子供達に對して、決して無爲に雲煙視されるべきでは無いと思ひます、古人は格物致知と訓へ、何んでも實際事物に打ツかつて敎へろ覺えろと申しました。

○

處で筆者數日前編輯室の机上に落ちました某日本人會からの『出征軍人慰問品募集』に關する勸誘狀樣のものを、何氣無く拜見して居ると俄に脊中から冷水を浴せ掛けられたやうに、忽ち心を寒ふする文句に出遭ひ、何んとも言はれぬ暗い氣持になりました。

○

その文句と云ふのは……

五、本會は各自で慰問袋を作る手數を省くため、及品物を一定する爲め一袋十ミルレイスあてにして一人一袋以上を募集する事、但し自ら慰問袋を作るも差支なき事

と有つた、何んと云ふ非常識であらう、まあ何んと云ふ無自覺であらう、此の時局下に於て之れが相當有識者を網羅する有力な地方日本人會とも有らうもの、言ふ事であらうか？心有る讀者は之れを讀まれて果して何うお考へになりますか？

○

今更事新しく申上るまでもなく、畏くも國母陛下におかせられては『慰めむ言の葉もがな、たたかひの、にはをしのびて、過ぎやからを』と仰せられて、出征軍人の家族に對し厚き御仁慈を垂れさせられ、又只今盛暑の候にも拘はらず蒸し暑いお部屋の内に終日御手づから出征傷病兵の爲めにホウ帶作製の作業をつゞけさせられて、寸時のお休みも無しと洩れ承はる、其他各宮樣方もひたすら皇軍將士の慰めに、御心を配せられて、御忙しくお過ごしなされてゐると拜承し、たゞ勿體なく忝く感泣の他はありません。

○

然るを、我々下々のものが、せめては一袋なりとも作つて貧者の一燈に代へむものと思ひ立つた慰問袋の募集を『各自で作る手數を省くため』などとは一體どこを押したら、そんな不謹慎極まる音が出て來るのか畏きあたりに對し奉つても實に恐れ多い言ひ分です、若し斯樣な思想が邦人間に平然許さるゝならば、現在互に口で喧しく言つてゐる處の、第二世の指導も敎育問題も有つたものでは有りません、眞に恐るべき量見違ひと申さねばなりません

○

繰り返して強調します、出征皇軍への慰問袋は必ず銘々が赤心を籠め自ら作つてこそ、皇軍慰問の精神に適ふと云ふもの、それを手數とか、面倒臭いと思ふやうな人は默つて引込んで居ろです、況んや『一袋十ミルレイスにて候』の『慰問袋屋』根性に至つては言語道斷沙汰の限りです。

○

序でながら憎まれ口を叩いて置きたい事は、一體在伯日本人社會を流れてゐる思想は餘りに非日本人的であり利己主義の打算的であります、故に『金さへあらば』『金さへ出せば』何んでも出來る、物が言へる、威張られる、上座に座られると思ふことです。

支那人やユダヤ人は恰もそのやうな思想の持主で誇るべき祖國も無く、世界到る處で輕蔑されて居ります、かくの如き輕薄漢の輩出等、全く怖ろしい事です、お互に反省しなければならぬ大切なことであります。

（一九三八、八、一二稿）

---

## 今週話題

# 南米珍聞

○……○

月が次等に遠くなり日が永くなる

ハーヴァード觀測所敎授のシャプリーと云ふ人が、此の程『星の光』と云ふ新著を出版したが、その本の記述に依ると、月は吾々の地球から百年に就き六尺余の割合で地球から遠ざかつて居ると云ふ、若し以前から此割合で昔から遠かつて居つたとすれば神武天皇即位の時から約二十六間位遠ざかつたわけになるが、それ位では然し觀測上の大きさに何等の變化を來すものではない

それから同じ本の中に、月の潮汐に依り地球の自轉が次第に遲くなつて居る事を指摘して居る、自轉がおそくなれば地球の一日は次第に永くなつて行くのであるが、シャプリー敎授の計算では百年に就き一秒の千分の一以内であると云ふから吾々の懷中時計で許り出せる樣なものではない

○……○

人魚に關する嘘の譚

海の人魚も正體を洗つて見ればじゆごんと云ふ醜い海獸であり、甚だ色氣のない話になるが此人魚に就て世間には隨分思ひ切つた出たらめがある、ヴアレンチンと云ふオランダ人の記錄に依ると、一四〇四年の事或大あらしの日に一匹の人魚が海岸に打上げられた、女共が珍しがつて絲を紡ぐ方法を敎へると頭がよくてなか〳〵よく覺える彼女（？）が死んだ時にはカトリック敎の儀式に依つて之を葬つたとあるし、巷說には人魚と人間との結婚談が出來上つて居る、傳說としてある分には差支ないが、こんな話がまことしやかに傳へられると、うそもやすみやすみ拔かしやがれと云ひたくなる

○……○

面白い動物の眼、同時に二つのものが見えるか

濠洲には三つ目のとかげが居る、人間の腦に附屬して、今では重要な內分泌をつかつて居る松果腺と呼ばれる小體も、昔は人間も三眼であつた痕跡ではないかと考へられて居る、然し動物の中で一番奇妙な眼を持つて居るものはえびやくも昆虫の如きものであらう

○……○

彼等の眼は複眼と呼ばれてゐるが、名の示す如く眼球の表面が無數の小面に分れて居り、其一つ〳〵は單獨の映像を觀る事が出來るものであるが一般にはそんな眼を持つて居る動物は定めし正確な視力とか、非常に廣い視野を持つて居るであらうと思はれて居るが、それは間違ひで、多分は正しい映像を作ると云ふ目的よりも、物（餌になる動物）の動作を視察するのに便する爲めであるらしい

○……○

それから一つの動物が同時に二つ或はそれ以上のものを見得るかと云ふ事は甚だ疑問になつて居り、未だ確められない所であるが、カメレオンがその二つの眼を相獨立してくる〳〵と動かす事の出來るのは有名な話である

考へて見るのに此動物は一眼は上方なり後方、一眼は下方なり後方なりを自由に見る事が出來るであらうと考へられるのである

○……○

然し果して其腦が同時に見える二つの異つた映像を立派に區別して判斷する事が出來るか否かはまだ却々決定しない問題であるし、距離の異つた二つの物體を同時に焦點を合せて見得るか否かも甚だ疑はしい、此外嬰兒とか猛獸の眼は一般に遠視眼が多いが、其理由は那邊にあるか、眼一つの事でも却々面白い問題がある。

---

# 畜生！敗けた腹癒せに黃河堤防を破壞

## 罪無き自國の良民を苦しめて責任を日本に轉嫁す

△

支那軍は龍海線開封退却に際し、悠久幾千年、支那の動脈たる黃河を破壞し去つて幾千萬人の自國民を戰禍以上の災厄に追込み、數十万人を溺死せしむる鬼畜行爲を敢てなした。しかも黃河缺潰の責任を日本に轉嫁せんと第三國に宣傳するなど支那一流のデマ放送を行つたが、現實の問題として日本軍が戰鬪行爲を休止して迄も罹災民衆の救濟に當り、更に兵力を使用して缺潰箇所の修理に當るのに支那軍は却つてこれに砲火を浴びせて妨害するのみか罹災民を死の淵に追ひ落す行爲を續けてゐるため第三國の批判をまたずして支那民衆自體が蔣政權を呪ひ、蔣介石を殷の暴王にも比喩し、日本軍を今更救世主の如くあがめるに至つたこの影響が日本軍の占領地帶に響いて支那民衆の蔣政權否定は益々熾烈となつて來た

△

然るに第三國たる英、米佛の民主々義國家群や、ソヴエイト赤色國家は、この支那軍の鬼畜行爲に對しては完全なる沈默を續けてゐるばかりか、日本空軍の廣東爆擊をとりあげて人道上の問題と攻擊するのである正に奇怪と云へばこれ以上奇怪事はあるまい。最近スペイン一有力紙が『フランコ軍の空爆や日本の空爆を攻擊する英、米、佛の民主國家群が、支那軍の爲した黃河破壞による自國民數十萬人を殺した行爲や、スペイン赤色政權が善良なる民衆五十余萬人を、何等罪なくして投獄、虐殺した行爲に對して何等觸るゝところないのは、全く判斷に苦しむ』と述べ、更にソヴエートの政治テロによる幾百萬人の投獄、虐殺を指摘してゐる。

△

そも〳〵黃河の破壞を支那軍が計畫したのは、徐州會戰の敗退前後で、日本軍の進擊を黃河の氾濫に依つて一時的にも阻止すべく黃河堤防破壞の準備を完了西部龍海線の重要據點開封の陥落と同時に爆破缺潰せしめたもので、當時日本軍が日本人が大陸へ、西方へ進出したい慾望は決して近代的なものではなかつた、それは我々の歷史が幾度かの民族的な壯擧を列べて示してくれる、それ等の壯擧は時代の進展と共に形式的に變化し擴大してゐるが、その內に潜んだ鬱勃たる生活力は一貫してゐる、此意味に於て今次事變は歷史的な必然であることは余りに明白過ぎる、我南方政策が高唱されたのは極く最近のことであり、その余りに遲きに失する感みがあつた。

△

今日此の南方政策の目標となるべき地域は即ち概括的に普通一般と云はれてゐる往昔の南蠻の地に當るフイリツピン、英領北ボルネオ、サラワク、佛領印度、支那、シヤム、英領フレイそれに內南洋と云はれてゐる舊獨逸領マリアナ、カロリン、マアシヤル更に、印度、濠洲、ニューギニア、ニュージーランドからハワイに至る赤道を中心とする彪大な土地を指さなければならない。

△

して、之等南方の豐饒な地帶の今日大部分が、英帝國の統治下乃至は勢力下にあることは何人も知悉する處である、『日本の國土と資源は既に到底年々激增する人口を支へ切れない段階に入つてゐる、近年の經濟的海外進出は、此の避け難い人口壓力と充實、躍進する工業生產の流出に外ならない、これを阻止すれば爆發して對外戰爭となるかさうでなければ內訌して國家の自壞を醸成するであらう、二つに一つの途を辿るべく必然付けられてゐる、阻止された儘現狀維持を擬慾することは日本の國情に鑑み絕對に有り得ないことである、日本のこの膨張に對立するのは米國でも露國でもない結局、それは東洋に於ける英國の既存勢力である』と言ふことが事變前に於て云はれてゐた。

△

而して我々は今日最早、對外戰爭と共にこの英の既存勢力との正面衝突に立つてゐるのである、それは今次事變に依つて我が國の勝利が余りに豫想外に壓倒的であり、英の東洋に於ける安全性を極度に威嚇してゐるからである、日英關係が日本最大の外交關係として登場したのは、恐らくは日清戰爭に依つて日本が東洋の强國としての第一步を印した時に始まる、而して三國干涉、三十三年の北清事變以來、滿洲に南下して東洋の侵略を企てた露の極東侵略は英帝國にとつては最大の脅威であつた、獨逸が英の競爭者として東洋にその活躍の舞臺を求める迄の英にとつての最大の敵は露であつたことは云ふ迄もない。

△

日清戰後、三國干涉に加はらなかつたのも原因はそこにあらう、英は本國を離れる遠い東洋の不安を日本の强力な武力に依存しやうとした、而して明治三十五年第一回日英同盟が締結された、しかし殘念ながら當時の日本は、老獪英國の外交を知らずして、徒らに世界最大の强國英と同盟を結んだことに依つて過大な滿足を得て、英國第一主義に陥つて了つた、このことが其後、我國を利すること多かつたと同時に非常なる禍根となり今日の對英事態を惹起した結果となつてゐる

△

更に日露戰爭は此の第一回日英同盟期間內に起つて日本を決定的に世界强國の水準に躍り上げたと同時に、ロマノフ王朝下の露は極東に於ける地位を失つて英が露への東洋に於ける脅威を霧散せしめ、あまつさへ、明治三十九年の英、露協約に依つてチベット、アフガニスタン、ペルシヤに關する條約を成立せしめた而してその生命線を確保した英はこの條約締結以來日英同盟に對する比較的冷淡な態度を取り始めて來た、西藏が完全に支那から獨立して英の保護下に屬し印度北邊の脅威を除いたのは全く日露戰爭に依る日本の露國壓迫の副產物であることも附記されるべきであらう

△

日英同盟が其後更新し第二回の同盟が爲されたのは當時カイゼル治下に新興の意氣凄い獨逸が激烈な海軍擴張競爭を英に挑んだからに外ならない、其後北米で有名な排日移民問題が起つた時この日米紛爭の渦中に入ることを恐れ明治四十四年には同盟條約を改訂して米との衝突を回避してゐる即ちこれが第三回日英同盟であり、この狀態の儘で兩國は歐洲大戰に參加した、勿論日本は飽迄も同盟の信義に基いて海、陸共に獨を東洋に於て擊滅して英の安全を遺憾無からしめた、日本が獨逸を山東より驅逐し南滿の權益を、完全に押へて漸次支那に對する地位を固めると共に英は日本の上昇的に强化する實力に脅威を感じ始めた。

（第二面へつゞく）

---

# 英の既存勢力に對立し是と衝突するは日本か

## 畢竟亞細亞は亞細亞自身のものだ

## 茲に長夜の夢は醒めた

---

# 問題の對日好戰狂極東軍總司令

## 勞働者出身のブリユツヘル

支那事變に沒頭しモウい・

▽——△

蘇聯極東軍總司令元帥ブリユツヘルの事は既に本紙第一九五號に於て詳報したが、爾來ソ滿國境の對立日を逐ふて深刻化し我方の平和的解決の意圖を無視し、どこまでも挑戰的態度に出て居るが是れは寧ろ極東軍總司令としての對日好戰狂ブリユツヘルが、自國軍備の强大を自惚れて、日本が難民衆の救濟に着手したが增水期の黃河として、日本內地では想像出來ぬ大氾濫が行はれ、その幅員十里に及び、滔々黃河南來に向け流れ出し數千萬支那民衆を慄え上らせてゐる。

かくの如く自國民を見捨てた蔣介石は更に揚子江を潰走して來るのに不審を抱いた處、支那軍が黃河堤防を爆破した爲め、黃河の水は非常に氾濫して命から〳〵避難してゐる事が判つた、氣の毒にもこれ等避難民は無一物、一家は散り〳〵文字通り身一つで逃れたもので日本軍は直ちに避難民衆の救濟に着手したのも黃河同樣の手段に出んとして居ると云はれて居り、いかに支那の軍隊が民衆と別個の存在であるとは云へかゝる野蠻な鬼畜行爲は世界に例を見ない、これには援助を與へる第三國こそ口に人道を唱へる世界平和の攪亂者と云へやう。

▽——△

ブリユツヘルは滿洲事變前、總兵數六万、飛行機百四十余りの微弱な極東軍備を、日本の大陸への積極的躍進を契機として、非常な努力と智腦を傾けて現在の三十万の兵力、千二百台のタンク、千二百機の飛行機、殊に十六億ルーブルを投じて築いた强固なトーチカ、ウラジオの完備等々に依る國境防備を成就した男である

▽——△

ブリユツヘルは一八八九年の生れだと云ふから本年五十歲の働き盛り、歐洲大戰までは車輪製造所の一勞働者で、大戰には一兵卒として徵募され後下士に昇進したが、重傷除隊後カザンの機關工場で勞働生活に入り一九一六年ボリシエヴイキ派に入黨、十月革命後ドウトフ將軍討伐に從ひ勳功あり、ソヴエート共和國制定後赤旗勳章の最初の受領者で一九二一年には極東共和國の總司令官、陸相軍事參議會議長の地位に累進し一九二九年のソ支紛爭には特別極東軍を組織して支那軍を一擧に葬つてゐる——と云ふ經歷を有する海千山千のシタタカ者である（寫眞は最近の對日好戰狂元帥ブリユツヘル）

---

切り取つて手紙の表にはられたし

CASA TOZAN LTDA.
COMMISSARIOS
Phone : 2105 e 2106 - Endereço Teleg. "TOZAN"
Praca Maua, 25 - Caixa Postal, 911
SANTOS

珈琲コミッサリオ
カーザ東山

東山銀行
伯貨定期預金
一ケ年 六步

サンパウロ事務所
ルア・フロレンシオ・デ・アブレウ 七四—七六
郵函 五二八 サンパウロ
電話 三一一一四一番
三一一一四二番
三一一一四三番

リンス事務所
アベニーダ ボルンタリオ ロザリーノ シルバ一四七
郵函 一一一番
電話 一四七

Banco Especie de Yokohama, Ltd.
The Yokohama Specie Bank, Ltd
Rua da Candelaria No, 23
Caixa Postal, 380 - Rio de Janeiro

◆伯貨預金
定期預金六ケ月以上利率當分年三步五厘の割であります
外に當座預金特別當座預金など御便宜御取扱ひ申上げます

◆日本貨預金

◆鄕里送金
新爲替管理令により內地向送金は一口四百ミル迄許可さるゝ事となりました、但し送金許可獲得には多少の遲延は免かれません
尙新令により特別稅として送金額の六分（6%）を、ブラジル銀行へ納入せねばなりませんから送金額以外に六分（6%）の金額を加へ御送金下さい、特別稅六分（6%）御送金なき時は御送金金額中より差引き殘額內地向送金申上げる事と致します

横濱正金銀行
リオ・デ・ジヤネイロ支店

時局下國民必讀の文字

# 鎖國日本より世界日本へ（一）

陸軍大將　男爵　荒木貞夫

△

我國の當面せる現下の時局は、開闢以來未曾有の重大情勢を示し、尋常一樣の覺悟を以てしては、打開し得ざるのみならず、今日の處置如何によりては其將來に及ぼす影響は到底豫想し得ざるものがあり、從つて現代國民の今時局に對する擧措如何は、翻て吾人の後昆に大なる累を貽すか福を齎すものなるかを考へざるを得ない、故に之を一時的の問題として輕視し、少康を見るや直ちに安逸を貪らんとするが如きは啻に不忠の臣民たるのみならず我國を今日の隆運に導き給ひたる皇祖皇宗の御威烈に對し奉り恐懼の極みであり、又其宏謨を扶翼し奉りたる我々の遠き祖先に對して、まことに相濟まざる次第である。

△

茲に於て第一に正しく現代を認識し、次に之を處する道を講じて、著々之を實行に現さねばならぬ、其處には少くも明治維新後の日本の國際的立場に對して一應觀察をしなければならぬ。乃ち彼の三百年の鎖國日本より今日の世界日本に至つた經路に付いて、觀察を下す必要があらうと思ふ。

△

德川氏三百年の太平、それは今日より見れば幾多批判を殘し又其功罪を論ずることが出來るかも知れぬが、公平に見て此の三百年の太平が、我國民の文化振興、日本精神の充實、並に戰亂時代後における我國に安定せる平和を與へた功績は沒すべからざるものがある、併しながら物には長所があれば短所がある、彼の百年に亘る戰國時代の日本文化の破壞並に群雄割據の時代を統一して、三百年の太平を持ち來たさんが爲めには其手段としては、自ら鎖國の手段に依ることは免れ得なかつたであらう、其鎖國が國際的に我國を落伍せしめたには相違ないが、これを今より兎や角策論するのは當時の事情を精査せず、單に結果だけを見たものと言はなければならぬ。

△

此問題は暫らく措き、兎も角戰國時代の統一平和に成功を爲したが遂に世界的科學に落伍し、一般に世界の進出に對して一著を輸した事は認めねばならぬ、世界は此三百年に、幾度か鬪爭を重ね、幾度か流血の慘を見、其辛苦の體驗に依つて得たデモクラシー文明の建設、組織、其の他科學工藝等々に異狀の進運を示した、今から考へれば眞に遺憾であるが又已むを得ぬことである、今更之を繰返して泣言を云ふ必要はないが、此事情は明かに認識するの要がある、此桃源の夢に耽つた間にも先覺の士は既に眼を海外に開いて居た林子平の如き海國兵談を論述し、間宮林藏の如き、遠く北朝の地を極め、其他國內の因循に不平の士は海洋を踏破し、或ひは廣く海外日本國民の氣魄は姑息なる祖國日本に滿足することが出來ないで、自然の勢ひとして海外に進出しつ、あつたのである、七十年の華々しき我海軍の建設も當時養はれたる此精神ありたればこそで、決して過然ではないのである、唯遺憾な事には鎖國の制度に制せられて少しく國際的の氣魄のありたるものは多く悲慘の運命を遂げた、林子平の如きも六無齊の辭を遺して不平の間に終らなければならぬことになつたのである。

△

又地力思想的に勃興し來りたるものは曾皇の精神でつとに水戸を根據として一世を風靡し、又山陽外史の如き、日本外史始め幾多の著書詩歌に勤皇の氣風を喚び起した、其の他本居宣長賀茂眞淵等も起つて、當時の日本の國體に反する多くの點を指摘して、思想的に曾皇、復古の風尙を養つた是等が逐次に綜合溫釀せられて幕末に至り漸時夫れ〳〵自覺するに至り、茲に三百年の太平の殼を破つて有識の士は少くも東洋の各方面に眼を注ぐに至つた。併しながら尙當時の上層部當事者は舊來の因襲に捉はれ勝て十分の認識を爲すに至らず、窮屈なる德川初期の國法に束縛せられて、鬱積し來りたる人心に必要なる道を開くに至つたのである、斯くして徒らに混沌たる情勢に放任し唯驀然たる物情を來すのみであつた。

△

扨て世の中は面白いもので、機運は如何に熟して居つても、やはり動機がなければ、實行に移り得ないものと見へる、此時に際し、動機となつて、明かに黎明期推移の端緒を開いたものは、黑船の來航である、故に今日の我國の進歩は黑船に依る所多しと云はざるを得ぬ『ペルリ』の記念碑も挽回せんとする閉國進取の氣風となつた、此の二つの考へが、精神的に强い日本國民の氣慨と、知識的に、連かに泰西の文物を入れて對抗すべき實力を作らうと云ふ氣勢を國內に充實せしむるに至つたので、此事が今日の我國運を作つた第一歩になつたのである、故に考へれば、黑船來航ほ今日の我國の隆運を來さしめた直接の原因であると言はなければならぬ。

---

極東に風雲を呼ぶ

# 赤い共產國內では因果は廻る民心大動搖の兆

宿年の暴政に對し國民の鬱憤は將に爆發

## 惡虐無道蘇聯の再檢討

【ハルビン發特報】目下モスクワ諸紙朗は、ウクライナ國民主義者の地下的叉スターリン陰謀、關し、新情報を傳へてゐるが、右の情報によると最近ウクライナに於し陰謀家のために殺害された共產黨員は二百十七名に及び、ウクライナ分離獨立の陰謀は全ソ國內に大小幾多の動亂を惹起した。ウクライナ共產黨中央委員會書記長フルシチヨーフはキエフ書記に對し、去月中に百六十四人の積極分子、コムソモール會員と職業組合員が殺害されたと報じ同時にゲ・ペ・ウはウクライナ人民委員長ウスペンスキイの援助を得てウクライナ獨立運動團体を三つ以上曝露し、八つの反スターリン運動團体を壞滅したと傳へてゐるが、小數獨裁の暴壓政治の行詰よりは自滅崩壞のみである。

△

西歷一六一三年ミカエルロマノフが十七歲の少年の身を以てロシア帝國の皇帝となつて次年三百年間、ロマノフ王朝の極端なる專制治下に喘ぎ苦しみ續けて來た全露一億六千余万の民衆は、世界大戰中の一九一七年三月ケレンスキー新政權に續いて同年十一月レーニン、トロツキー等の過激派革命の成功によつて永年間夢見てゐた革命來を實現し貴族と僧侶の暴政から解放されて、やれ嬉しやと思つたのも束の間、それに代つて急速に出現した所謂プロレタリヤート政治形體による小數獨裁者の暴壓政權下に、限り無き苦惱をかこたねばならなかつた。

△

主義や主張を論ずる者にとつては何れも、それ相當に言ひ分はあるであらう、然し政治の本領はその窮極に於て、國家の繁榮を促進し、民衆の福祉を增進して司配者と被司配者との融合一體和樂の理想鄕を實現せしめんと努力するところに在る、然るにロシアに共產革命成つてより年を經ること既に二十一年、而して我等の眼前に展開されたる事實は、全露一億六千万の民衆は共產政府の治下に於て何んらの幸福を受くることも無く、國內物資の缺乏によつて人民は餓死滅亡に近き實狀を示してゐる、此の事實の証する處は凡そ社會主義、共產主義、無政府主義等が結局如何に悲慘なる失敗を人類にもたらすかと云ふ事である。

## 土地と人口

共產ロシアの正式名稱は『ソヴエーツ聯邦』であつて、七つの社會主義共和國の聯合によつて成る聯邦組織體である。その總面積は地球上全陸地の六分の一を占め二千百三十九万平方キロ米に上る。

人口は一九三三年の概算で約一億六千五百万となり實に百九十種の民族に分れてゐる、その中最大の民族は大ロシア人で總人口の五割二分を占め、之れに次で只今內亂陰謀發覺のウクライナの小ロシア人の二割二分、又ユダヤ人は二百五十万と算せられてゐる。

## 其の宗教別

帝政時代の國教は東方正教會即ちギリシヤカトリック派で、日本に於ては東京市駿河台に本山を有する正教會（ハリスト教會別稱ニコライ派）がそれである

人民をその帝政時代に於ける宗教別に見るに、四分の三は國教に屬し、回々教徒が千三百万人、ローマ法王教徒が千二百五十万人、ユダヤ教徒が四百万人、その他二百七十万人となつてゐた。

## 國教の禁止

共產政府は一九一八年一月二十三日、その國教を廢止し教會の財產を沒收し、更に一九二九年五月徹底した宗教禁止政策を執ることなつた、爾來政府は人民委員部に反宗教宣傳の視學制度を新設し、宗教の宣傳禁止法を督勵せしめ、例のゲ・ペ・ウの活動によつて一般民衆の宗教的信仰を極度に仰壓してゐるが、表面にその効果を見せてゐるが實は反對の裏面に於ては民衆の宗教心は潛行的になつて愈々强くなつて來てゐる、即ち彼は一八七年シベリア、トボルスク縣ポブロスコの貧農の子として生れた、恰かも日露戰爭の頃より皇室の大奧內に出入し始めたが、彼の身邊に低迷する一種の神秘的空氣、巧みに裝ふ粗暴なる言行、殊に結び自尊自大、貪、邪淫の限りを盡し可憐無智なる民衆の膏血を絞つて暴富と豪奢を極めた、殊にシベリアの農夫の子より身を起して皇室の祈禱僧にまで成り上つた怪僧ラスプチンの如きこの最も好適なる實例である

# 皇軍の空襲に慄へつゝ、廣東より香港へ

## 將介石は落膽してふら〳〵

## 紳商王宗文の手記

○——○

廣東からやつと逃げ出して來たけれども思ひ出してもぞつとする、戰爭がまさかこんなに長く續くとは思はず、出來るだけ踏み止まらうとおもつて居たがとう〳〵辛抱し切れなくなつた先月の二十八日から連續十日間の空襲によつて、廣東の軍事據点は文字通り廢墟になつた、四日の統計による廣東の人口は九十万で、一時避難して居た者もぼつり〳〵復歸し、漢民路、双文厎等の繁華な街は、事變がどこにあるかと思はれる程の殷盛振りを見せて居たのであるが、その盛り場でさへも、今は店を開いて居るものは數へる程で、夜となれば一けんの店も開いて居ない、爆擊がはじまつて以來十日間に四十万の市民が各方面に避難し、市内の家は八分通り空家になつてしまつた、そして殘された五十万の市民は、まるで電氣人形のやうに、たつた一つの空襲サイレンによつて支配されつゝ、生きた心地もなくやつと命を保つて居る

○——○

毎朝五時頃から空襲サイレンが鳴り出すので、市民はそれより前に起きて朝食をすませて置かねばならぬいざ空襲となれば飯を食ふ暇もないからだ、いま廣東では絶對に安全だと云ふ場所は一ケ所もない、沙面の外國租界だけは安全だがこゝに通ずる二つの鐵門は空襲と同時にかたく閉鎖されて、支那人を一歩も入れない、多くの支那人は比較的安全とおもはれる沙面の方へ殺到する、一度サイレンが鳴れば全市民はまるで死刑の宣告をうけたやうな悲痛な氣持ちに襲はれる、彼等は如何に若く、如何に強健でも絶對に自らの命を賴むことが出來ないのだ、そして何時間か、あの息のつまる不安の後で、やつと警報解除のサイレンが鳴つて文字通り蘇生のおもひをすると、すぐその後へ第二の警報が鳴ると云つた調子で全市民の神經がたつた一つのサイレンに集中され、へトへトに疲らされてしまふ

○——○

十數日來の廣東は全世界で最も奇妙な都市となつてしまつた、七日から夜襲が始まり、二十四時間中一分の暇もなく、恐怖の虜となつて居る始末だ、それまでは夜間だけは安全だつたので、市民は夜間を利用して避難をした、家財道具はまとめておもひ〳〵の方角へ逃れたのだが、交通機關がなかなかに得られず、平素なれば、五十錢位ひの人力車が十圓も吹つかけられ、それでも容易に手に入らない、空襲がはじまつてから喜んで居るのは人力車夫だ墓場のやうな夜の靜寂の中を、あちこちに上つて居る眞紅の火事を望みつゝ、歩くほどばしりと、强烈な火藥の臭ひと、腐つた死体の臭ひが一時にをそひかゝつて窒息しさうだ

○——○

はじめの中はそれでも警報が解除された後は街路の照明も見られたのだが、六日の爆擊で西村の發電所が徹底的に破壞されてからは文字通り光をうしなつた街となつた、今までの爆擊のうちで去る六日が一番ひどかつた、慘害に關する新聞の記事は何時も非常に誇張されて居るので支那人は誰れも本當にしない、發電所の復旧も早かつたのは次の朝の空襲に電氣仕掛けのサイレンが鳴らず、市民は出拔けに空襲されて肝をつぶした、しかし八日朝の空襲には一部分復活したらしく所によつてはサイレンが鳴つたそうだが、私が居た街では鈴を振つて走り廻つて居た。

# 最後の賴み英佛蘇國の援助が斷たれたら？

## 將夫妻は英米に亡命して後生大事に私財を守るか

○——○

徐州陥封が相ひ次いで陥落してから武漢の空氣は一時に緊張を呈し、龍海、京漢兩方面からの避難民が先週中に十數万も殺到し、今週中にはさらに二倍ぐらひ避難して來るであらうと豫想され、以前から避難民の外にこの新來の避難民を加へ大部分は一錢の旅費も持たぬ連中を奥地の各省へ分散させやうと云ふことは、恐らく日本軍を擊滅するよりも困難だ、蔣介石の軍事機關はすべて漢陽にあり、蔣の邸宅は城北にあるが、警備嚴重を極めて、一歩も近づけない、陳誠の武漢衛戍司令部及び軍事委員會政治訓練部もその附近にある蔣の健康は最も關心を持たれて居るが、非常な過勞のために衰弱甚だしく、杖を用ゐるか、誰かに扶けてもらはねば一人で歩けないとのことである

○——○

普通の軍事會議には自ら出席せず、大抵陳誠か何應欽か代理として出席するさうだ、國共の關係はすでに分裂して居ると云つた方が妥當だ、双方の軋轢が絶へ間なく、一度共產分子が蔣打倒のクーデターを計畫して、中つて非業の最期を遂げても仕方がない事になつて居て、兩派の、大抗爭をつゞけて居るが、何時ちよつとした動機で爆發するかもしれない危險性を多分に内包して居る、李宗仁、白崇禧と蔣介石との關係は、一時よかつたが徐州陥落後急に惡化した、廣東、廣西の軍隊は北方戰線の情勢に關せず郷里に歸ることに決したと噂されて居る、現在武漢にある支那側の飛行機は百數十臺で外國筋の傳へる數字はすべて誇大に過ぎる虚報である

○——○

將は日本軍の廣東爆發に應戰するため急遽支那軍飛行機を派遣すると云つて居るが、最近二回の日本軍漢口の空襲で少くとも五十機以上を失つて居るので、そんな余裕はない、武漢の防備は積極的には目下大軍を集中して居る、中央軍六万五千と、四川軍四万を以つて湖北全省の一般防備に當らせ武漢一帶の守備のため警備團一千、歩、騎、砲、機關銃隊などの特別隊三万五千湖北省境の武勝關以内の京漢線を警備に二万、奥漢線の退路守備に一万二千、楊子江筋の漢口、沙市間の退路守備に一万五千の兵力を當て居ると云はれて居る、この外、南陽、漢口間自動車路防備は三万の兵力をあて測する。

# 臺灣に一個師增置を陳情

## 皇政宣揚會から

【台北發】雲南へと一途に抗日蔣政權の逃避に伴つて我が臺灣の軍略上の重要性は加速度的に增强する一方我が國南方發展の上に於て南端の最重要地と云ふべき臺灣島は、一個師增設の喫緊なる事を痛感せる島民を代表して、臺北市皇政宣揚會は次の如き懇願書を陸軍大臣宛提出した

### 懇願書

謹啓、師團を臺灣に設置は南進國策上論を俟ざる處に御座候、然るに未だに實現を見ず遺憾に不堪候、特に本島の特種事情に鑑み又本事變に際會し痛切に感するものの有之候就ては貴方に於かれても左記請願書の趣旨御賛同の上實現に御協力相成度く右奉懇願候也

昭和十三年六月一日

臺北州臺北市若竹町一丁目二番地

皇政宣揚會代表　山下好太郎

陸軍大臣殿

師團設置に關する請願書

臺灣の特種事情に鑑み一個師團增置の實現が一日も速かならん事を

右請願す

理由

大洋中に孤懸する大日本帝國南端の最要地として又南方發展の礎地たる本島に於て年來島民は一個師團增置の必要なる旨を熱願したるところなれど不幸にして未だに其の運びに到らず這般日支事變に際會し更に其の實現の促進を痛感罷望するものあり其の經費の如きに到つては全島民が當然の義務として喜んで負擔すべきところなり

# 配給券の僞造銃後の裏切

## 最初の統制違反

【靜岡發特信】綿糸の配給は切符制度によつて統制されて居るが、これがため遠州綿織業者は綿糸雜になやんで居る矢先、愛知、靜岡を中心とする永久社（組合員一千余名）元組合員鈴木金一外小數名と共謀、甲府市下連雀町矢崎印刷所を欺き、巧に綿糸配給券を僞造しこれを絹糸雜にあへぐ業者に三十圓乃至五十圓で賣捌いた外、自分で綿糸を購入して居たことが此程發覺事件は目下濱松署で取調べて居るが、縣ならびに商工省ではフス混用規定實施後全國的にも最初の統制違反なので、事件を重大視し、綿工聯し徹底的調査を嚴命したが僞造券使用者は靜岡縣のみに止らず、愛知縣をはじめ各府縣にも組織的に流用されて居ることが判明したので綿工聯では配給統制團体と對策を協議の上、統制團体の申合せ制裁規定によつて永久社に對する『綿糸配給半減』を考慮して居るが、制裁規則が適用されゝば永久社所屬の千余工場は側杖を喰つて綿糸雜から休業者が紐出するので狼狽して居る。

# 勤勞御奉仕の照宮樣

【東京發】女子學習院中期三年に御在學中の照宮樣には去月十八日から六日間行はれた勤勞奉仕に御參加、白衣の裁縫に勤しまれた。殿下の御組は肩あてなどを分擔して居られたが、御器用な御手捌きで一針毎に御心をこめさせられつゝ、御ていねいに御針を運ばせられ給ふ尊き御姿を拜して長屋院長以下は恐懼申上げて居る、後期一年に御在學の賀陽宮美智子女王殿下にも御同樣白衣の奉仕に御精を出させられたが、兩殿下には暫中休暇に入つても引きつゞき二十三日まで御參加遊ばされたと承はる。

# 旅客機墜落し九名慘死

## コンドール機

【リオ發】十五日朝七時半コンドール會社所屬南米沿岸定期旅客航空機アニヤンガー號は、北部行き乘客五名を載せカジューを離れ飛翔したが、十五分後機關に故障を生じ無殘にも眞ッ逆さまになり火炎を吹き大爆音と共に海上に墜落乘客及び乗組員全部四名慘死したアニヤンガーは獨逸製大型水上機でラヂオの放送受信裝置迄有する最新式で乗客は十七人まで收容し得られるものであつた乗客はヴィクトリア行のミルトン、シルヴァ氏パイア行のアルベルトシコネル、マリアフエラース、アニシオ、レゴの諸氏とアラカジュー行のカーロス、ブラード氏で、機長のジョアンウルヂキナ氏は獨逸で最近の航空技術の研究を終へ二三ケ月前歸伯した伯國人で技術には申分無き人であつたと

### 生命八十五ミル

去る六月一日夜アウグストチビリサなる青年、市内場末ヴイラコンセイソンのボテキンに入りピンガを一杯引つかけ代金を支拂つて出た處、まだ財布に金子が有ると看取した四人の良からぬ黑人に跡をつけられ、くら闇の路上で四人の爲にたゝき殺され、溜池の中に投り込まれたと云ふ、十五日犯人は全部逮捕されたが、殺して八十五ミルを四人で分配せる事を自白したと

### ◇如是我聞◇

過日の事變一周年記念日に日本では全國に動員して金屬廢物の一個一品の獻納運動が行はれたが、豫期以上の好成績で各所に空カン、破れ釜、鉄屑、ブリキ等の山を現出し東京だけで全市三千六十一町會を合し十五万圓を突破、廢物利用も仲々バカにならぬものだ、在伯邦人の間でも既にランシヤリヤの有志が此の先鞭をつけたが兎角ブラジルで行はれる愛國運動は花火線香式で永續きがしない、それだけ天與に惠まれた國に來たおかげで人間がボケて來たのだらうよ。

△

八日附でサントス日本人會から『今般本會は何人にも容易に實行が出來て而も飛行機製作に、最も有用なる材料となる煙草の銀紙を集めて獻納する事にしたから宜ろしく後援を賴む』と云ふ依頼狀が來た、本當に好い思ひつきであるから本社は双手を擧げて大賛成だ、然しながら前にも言つたやうに決して花火線香式に終らぬやう『その企ては當國稅關の許す限り且つ戰爭のつゞく限り是非共繼續事業として』やつて貰ひ度い、前以てこちらからもシカと御頼みして置きまするぞ。

△

十日の東京同盟ニュースとして發表された外務省河相情報部長が『日支事變勃發以來、海外同胞の獻納運動は内地の人々の想像以上に盛んであるが、熱情の余り實際上多少行過ぎの風潮を帶びて來た所もあるらしいので、之れをいましめる談話を試みた』とある、何事も行き過ぎと云ふことは宜ろしくないには極つて居るが、愛國運動に行き過ぎていけないと云ふことは少くとも我が皇國々體には有り得べからざることだ、他の國の事はいざ知らず、このブラジルに關する限り其の言葉は吞てはまつて居ない我々は、もつと〳〵是處で愛國獻納運動が盛んになり白熱して臭れ、ばい、がと思つてゐる場合、河相情報部長余計な事をシヤベツて臭れるなと言ひたい。

△

但し新聞に名前を書かれ褒められたさに『少額ですが獻納金に……』は感心しない寧ろ寒心すべき行爲だ、愛國運動は花火線香式で永續きがしない、それだけ天與に惠まれた國に來たおかげで人間がボケて來たのだらうよ。

△

功有つて德とせず勞有つてほこらず厚きの至りなりと古人は戒めた、眞心から靈そうと云ふ精神からの國防獻金や銃後獻金運動なら、新聞なんかに名前を書かれたら、却つて迷惑を感ずる筈のものだ、親の雛儀を援けて一々『私はこれだけの孝行をしました』と世間に發表する阿房はあるまい。

銃劍道聯盟の第六回武道大會は時節柄非常な盛會であつたことを喜ぶ、一日同聯盟の理事某氏本社へ來訪、談たま〳〵大會の事に及び某氏歎じて曰く『貴紙に書かれた武道精神論に在つた如く、昔と違つて此頃は武道の精神主義が閑却され何んでも勝つた負けたの勝負を爭ふことにのみ重きを置くやうになり、精神拔きのワザ中心となつて居る風潮には困つたものです、最も重んぜらるべき禮儀作法の如きもワザの前には輕視されてゐる形である、然も新聞が筆を揃へて單に勝つた負けたの勝負の記錄に重心を置き、恰も野球やフートボールのゲームと同視して取扱つて呉れるのは實に心慨に堪へない、せめて貴社だけなりとも此の方面の弊に向つて正論を吐き公正の批判をして貰ひたい』と

△

記者曰く『本當にその通りです、肝腎な精神拔きの武術が如何に盛大になつたとて慶ぶべきではない、寧ろ之れが招來する弊害は大きからう、今日は第二世の教育問題なんかで日本人としての精神教育上種々支障を生じて居る、斯かる場合日本武道普及に依つて我々の子弟を善導するのが最も妥當であると思はれるが、それには先づ精神主義の武道が勃興しなくては折角の努力も水泡に歸するであらう此の意味に於て現に銃劍道聯盟に關係して居られる幹部諸君から猛省一番革新の意氣に燃えて貰はねばならぬ』と答へた

△

從つて數日前開かれた第六回武道大會の結果（勝敗）に就て本紙としては麗々しき詳報を省く、物淋しく思ふ讀者はどうか他の邦字紙の記事で埋め合されたい、又今次大會の批評もおほよそ以上の言葉につきると思ふ、たゞ特に聲を大にして叫んで置きたいことは近頃邦人間に流行する野球熱陸競熱の影響を受けて行ふ者も共に之を恰もスポーツに於けるが如き興味と勝敗に心奪はれ、臍下丹田の工夫を兎角忘れ勝ちなる一事であるが、斯の如きは嚴に警戒を要す。

# 人間の弱味

(4)

△——△

地上の穀物と美味な果物とは人間の專有に歸して了つて居ります、雀は秋に一度稻の初穗を啄みに來るが、ために、一年中人間の所謂害虫をせつせと喰つて來た勳功を沒せられて了つて、案山子に追はれ空鐵砲に脅かされ時に頑童の空氣銃に中つて非業の最期を遂げても仕方がない事になつて居ります、鳥も同樣にして一つの柿一つの果物を盜むがために折角腐肉を喰つて人間の住家の周圍を掃除すると云ふ顯著な働きも全で認められて居ない始末であります。

△——△

人間は娯樂のためにのみ狩をする、英國では今日のゲームに雉が二羽と定めれば、どんな雉の大群に出會つても二羽しか擊たないのが紳士道であるときれ、頻りに是を感心する人もありますが、一旦雉の立場になつて見たならば居る事に飽きて目分の勝手な決め方をした紳士道等を些とも有難いとは思はないでせう。

況んや腰の廻りにみのを着けた如く累々と獲物を下げて歸る事が銃獵家の名譽と心得て居る樣な人々は獵鳥に取つての一種の惡鬼と云ふ事も出來るのではないでせうか。

一足の靴を拵らへるにも羊の孕み仔を狙はなければならぬ程の人間、一對の手袋にも獸か蠶かを求めるより外に方法のない人間は今少しく『居らんがための動物』と云ふ觀念を離れなければならんでせう、自慢のゴム靴が若し魚屋の足から離れて夜會の席上にも履いて行ける程の時になる迄は羊の恩を肝に銘じて然るべきではないでせうか。

貝を養殖する人は場内につめたの發生する事を酷く恐れます、是を取り除く事は其人に取つての正當防衛でありませうが、而しつつもし必要以上を食ふようとはしないでせう。

その脊に穴をあけるのは惡戯ではなくして、彼等に取つては矢張り人間が糧を得ると同樣、眞面目な、生死に直面した所の問題である事を考へて見てやらなければなりません。

▽——△

適者は生存する、又逆に生存の妨げになるものは追はねばならぬ、然し一地方に野鼠が殖える事が、例へば鼠を捕食する他の動物を殖えしめても彼等動物は決して必要以上を食ふようとはしないでせう。

人間は不幸にして智が授けられ授けられた智が今や反つて其身を禍して必要以上を食らんとして居ります理想の究極を云へば米國の石油も人類の共產物である支那の鐵、トランスヴアールの金剛石、加奈太の金等一切合財同樣でなければならんでせう。

同じ意味からして、全地球上の食物は全生物の共有物であり、一個のアメーバも一人の人間も等値の生存權を所有して居ると云ふ事が出來るでせう、必要以上に相違する事が若しも人類の

人間は何事に於ても天地の美德たるを失はないものです

（完）


料亭　千鳥
ビネイロス　フエルナンヂアス　五二
（女給さん數名入用）

齒科醫　寶臣衛
アラサツーバ市　郵函二〇八

聖市グローリア街三五二
電話二一六八四八
淺倉齒科院
●毎日曜日コチアへ出張診療（室永氏方）
Rua da Gloria 352 S.Paulo
(Largo do S.Paulo)

社告
野崎彌太郎
右弊社々員地方愛讀者各位を訪問致させ候間何卒よろしく御配慮下され度御申願上げ候
六月三十日
南米新報社

診察　午前九時ヨリ
時間　午後五時マデ
北大醫學士　今田求
リンス市
電話　一四三
郵函　二〇三

料亭　青柳
聖市　ルア　タバチンゲーラ　五六
電話　二一一九四八番

料亭　富田家
聖市　コンセレイロ　フルタード街
一三五　電話　二一六七六七

CAMBIO
CASA COELHO
Fundada em 1900
——兩替——
日本金、ドル及びリブラを他店よりも必ず御利益になるやう兩替します
一度お試し下さい
サントス市、プラツサ、レブブリカ、四五（マルチン、アホンソ、八〇番の角）電話　二五〇二番
カーザ　コエリヨ

Escritorio SOOMA Ltda.
R. Fellipe de Oliveira, 21 C. P. 4418
Tel. 2-7609 S. PAULO
早く安く確實に
一、商工業者登錄
一、歸化手續
一、地權調査、問題解決
諸交渉ならば奇蹟的手腕有り
御試し下さい（各集團地に取次人を置く）
相馬法律事務所
聖市フエリツペデオリベイラ街廿一
郵函四四一八　電話二一七六〇九

CASA HAMAOKA
Rua Ceres 106 C. Postal 993 S. Paulo
施肥によつて增收と品質の向上を計りませう
配合肥料
バタタ
アルゴドン
トマテ
用
其他有機質及化學肥料一般
●御申込次第定價表差上ます
聖市　濱岡商店
電話　二一七五八一番


尋人廣告

北海道空知郡岩見澤町　後藤喜一郎
大正三年三月九日生

宮崎縣南那珂那細田　日高孫吉
明治廿四年十一月廿八日生

右之者現住所承知致度キニ付本人又ハ御存知ノ向ハ當館迄御一報相煩度シ

昭和十三年八月十一日

在『サンパウロ』
帝國總領事館

Redacção e Administração
Rua Pires da Motta, 331 S.Paulo
Tel. 7-1614 Caixa Postal 1243

# NAMBEI SHIMPO

Director J. V. França　　Proprietario Paulo Iquenaga

S. Paulo, 18 de AGOSTO de 1938

## 繞る解け？瓦の角の建て？人々

悟道堂圓玉（作）
丸尾至陽（畫）

六一　抜けた二人

青木彌太郎は大阪屋庄兵衛のもとにて千兩まき上げ駕を申し付けたが、間もなく赤岩と云ふ宿駕から威勢の宜い若い者が駕をもつて來た、この時に齊藤嘉平次は奥に入り

嘉『御主人、あいつらの謀り事にか、つて千兩取られましたぞ』

庄『それは大變、五百兩で勘辨するといひましたが』

嘉『小判で持つて行つたがよくなかつた、小粒と取り替へてくれと申したはむかふの好策でした、小粒で五百兩持つて行つために小判まで取られました、しかしこのまゝにはすておかぬ、あとをしたうて吉原土手で二人を打殺して千兩取り戻すことにいたす』

庄『それでは先生よろしくお願ひ申します』

嘉『御心配なさるな、必ず彼等に渡した金は取りもどす、不埒な奴だ』

と嘉平次はこゝへつれて來た門人を走らしてこれも赤岩の駕を呼び、五挺ならべて打乘り裏口から出た。

青木彌太郎に岡田盟は大阪屋の表に待たしてある駕に乘るとポツリと雨が落ちて來た。

彌『とう〳〵泣き出したな如何に五月雨とはいひながらよく降る哺』

駕『左樣でございます、今夜はやみますまい、あ、大屏降つて來た』

パラリと駕に覆をかけ肩を入れると駕は大傳馬町をあとにした、同時に齊藤嘉平次その他門人共の乘つた駕も大傳馬町をはなれたがこれは青木と岡田の駕を中にはさんで北をさして飛ぶ、淺草見附へかゝると拔けるやうに降つて來た夜のこと、て道は一層暗い、あれから茅町にかゝり天王橋を渡り、幕府の米藏を右に見て藏前の八幡宮の門前から黑船町、駒形並木にかゝり雷門をむかふににらんで左に切れた馬道、今は廣くなつたが、あの當時はせまい、駕はトツトツトツ〳〵と急ぐ、風が吹いて雨は駕に叩きつける、馬道から田町と出て堤に上らうとした時に青木の乘つた駕がとまつた

彌『どうした若い者』

○『草鞋が切れました、少しお待なすつてください』

提燈を籠の捧ばなにさげ草鞋を脱いだ、するとこの籠をはさんでこゝまで來た嘉平次の乘つた駕はこゝで止めるとむかふに怪しまれるそれ故二三間行きすぎた

○『ヘエ且那お待遠樣でございました』

と青木を乘せて若い衆が肩を入れるとよろ〳〵とよろめき

○『こいつは變だぜ』

と提燈を取り左の手で覆をあげて中を見ると客はゐない、びつくりした若い者

○『不思議だな、オイ熊や俺の客は駕の中で溶けたぜ』

といつたが人間が溶けるわけがない、すると岡田の駕をかついでんたものも

○『これは奇態だ、俺の客もゐねえ、怪有だなア』

と顔を見合した、齊藤嘉平次はじめ門人は青木と岡田の駕の來るを待つためにこれも止めてゐたが、怪有だ不思議だといふのを耳にして駕から出た嘉平次

嘉『これ若い者、貴樣の乘せて參つた客はどうした』

○『二人とも居りませんや』

これを聞いて嘉平次はびつくりして

嘉『何だと、二人は居らぬと』

といつたがつか〳〵と進みよつた

○『不思議でございますよ』

たしかに堤を上るまで居たに相違ねえヘエーわらじが切れましてそいつを脱いでゐる内に二人とも消えましたか』

嘉『扨ては逃げ居つたか』

とイヤ嘉平次は足ずりをしてハツタと怒つた

## 義憤？公憤？

何んでも持つて來い！

## 讀者論壇

【愛讀者の投稿歡迎、本紙年極愛讀者以外の投稿は採用致しませんから紙上の匿名は目由なるも必ず住所氏名を編輯部迄内報される事、原稿の取捨は凡て係に一任、又原稿返却の求めには應じません餘り長文に亘るものは御免を蒙ります】

### アラサツーバ學園落成式から

アラサツーバ　前途心配生

△　奥ノロエステの大都市アラサツーバの一角に百數十コントスを投じた立派な邦人の學校が落成した、私も同地在住同胞の一員として誠に喜びに堪へず此の難業に貢献された人々に對し滿腔の感謝を捧げたい

私はそういふ氣持を以て當日の落成式に參列し夜の演藝會も見た、その結果私もそれまでの感謝と期待はスツカり裏切られて了つた

△　先づ式順中伯國々歌に續いて君が代の齊唱を待つてゐたが、式は伯國々歌のみで次に移つて行つた、日本語學校の落成式だ日本の國體表徴である君が代を合唱するに何の差支があらう、主催者は誰れに憚る所があつて之れを省いたか？

△　次に學園長の挨拶が無かつたのは物足りないと云ふよりも前途の望みを失つたやうに感じた、假令デクのボウ扱されポリチオに踊らされてゐるものにもせよ、斯かる紀念すべき場合少くとも日頃の所感なり教育上の感想なりを聽かせて欲しかつた、安瀬氏の型通りの挨拶の外伯人有志は盛んに日本人の優秀を指摘して祝詞を述べてゐるのに、來賓の日本人側からは一人として一言も生徒に對し有益な言葉を與へるものもなく、みな小さくなつて遠慮した意氣地無さには涙がこぼれたつカり裏切られて了つた

△　夜の學藝會も亦然り伯國生れの第二世とはいへ、二三を除いてはみな葡語で種々な事をやつた、外人が之を見たら嘲喜んだであらう、然し見物人はみな日本語のわかる日本人だ、中には出舍から態々出かけて來た人も大勢あつたのに……それをやる方は別として此んなチンプンカンプンを平氣でやらせてゐる父兄側はたしかにドウかしてゐる、シツカリして吳れ、一人前以上立派な新校舍や寄宿舍は出來たが、さて之れからが大切だ、然るに此の調子で進んだなら數年を出ですしては非日系（精神的）伯人が生れるばかりだ、此前の南米新報も言つてゐたやうに眞の教育は必ずしも立派な校舍でなければ出來ぬと云ふ法はない、サツパ小屋の中でも心さへあらば立派な教育は出來ると云ふことをしみ〴〵感じてゐる

### 所謂出征の爲歸國するよりも踏留る人とは？

聖市一老兵生

本月七日夜リオ在留同胞青年會々合の席上に於て大使館武官中西大佐が『戰爭のために歸國するより遠く海外から、祖國を援助して貰ふことが日本としては一番有難い』と話つたことを、在伯同胞青年の歸國從軍ぎらひの日伯紙（本月十日發行）では殊更に『出征の爲歸國するより踏留まつて生業に勵め、中西大佐寄年に警告』と題し『そら、言はぬ事もやならう』と云はぬばかりに書き立て、ゐたが、あれは一体帝國陸軍の意見か、それとも中西大佐個人の私見か、その邊の消息がまだハツキリしないから、今更取り立て、問題とするに足りないが、吾人は眼のあたりに愛國の赤心御へがたく敢然歸國從軍を志願するマジメな青年を見る一方『祖國の爲めに歸國するよりも自分の商賣に一文でも儲けて蓄める事を勵んだ方がよいと云ふ亡國の民』を目擊し感慨深きものがある、即ち次の實話を紹介して眞に祖國愛に燃ゆる『日本人』の眞心に問ひたいと思ふ

△　聖市内に於て小生の顔知りなる一支那人青年（廣東生れ）に小生は左の如き珍妙なる質問を試みた（以下小とあるは小生、彼とあるはその支那青年の事）

小君の國では國民政府が愈々ダメになり、みんな一生懸命になつて抗日戰を續けてゐるやうだが、君は自國のその運命をどう見るか

彼私は私の生活のために國（廣東の事）を飛び出して今では樂に生活をしてゐる、政治なんてものは俺達の知つたことぢやない、それを知つてどうすると云ふのか？

小それでは自分の國がどうなつても知つた事ぢやない、自分は自分だけ生活すれば可いと云ふのか？

彼まあ、そんなものさ、それや自分の生れた國が他より強くなれば嬉しいが弱くなつたとて、滅びたとて俺達のせいでも無し又俺達の力でどうする譯にもならんぢやないか、そんな事を考へるヒマに大に金儲けの方法に就てもつと考へる事だよ

小それでは若し愈々君に支那政府から歸國しろと云ふて來ても歸らん氣か？

彼歸國してどうする？

小鉄砲かついで戰場に出るのさ

彼デウス、ミ、リブレ！

そんなバカな眞似をしてゐると俺の口が干上つて仕舞ふぢやないか

斯くて彼は日伯紙の謂ゆる『出征の爲め歸國するより踏留まつて生業に勵』んで居る全く以てカンシンすべき亡國の民ではある、因に彼の生業は料理屋のガルソンである

△

### 時機に適した機關

聖市に生れた

### 母の會

第二世子女保護善導の爲め

『同胞が當國に移住し始めてから既に三十年、子を持つた親達はそれ〴〵お嫁を貰つてやらねばならず、お嫁にやらねばならぬ時代に達した、然るに當國の散漫なる環境に支配され第二世父は準第二世の子女は日本人ともつかずブラジル人ともつかぬ、實に妙な者になりか、つて居ることは一般父兄のひとしく認めるところで、殊に奥地農村に於ては親の無理解から大切な日本人娘が取り返しのつかぬ事をする事實もあり、全く捨ておき難い事情に立到つてゐる、第二世教育の大切なることは申す迄もないが、その中でも第二世女子は日本人種の純潔なる血を守つて第三世を生まねばならぬ重要なる役目を持つてゐるそれが日本精神はもとよりのこと、日本の良い點も知らず、ブラジルの長所も辨へず、例へやうなき變な女に育つを見ては子を持つた親としては誠に忍び難い只今奥地農村では、自分達の娘はどうなるのか、自分達の娘をどうすればよいのかと、皆々深刻に惱んでゐるところでこれは一日も忽せにすべからざる重大問題である、男子教育のことに就ては、それ〴〵機關もあるが、獨り女子教育に至りては從來殆んど顧られて居ない狀態であるから、在來の教育機關を援ひ幾分なりとも第二世女子の保護善導に資したい』との奇特な精神から今回聖市内で岡田千代子、北村ミヨシ、岩上節、逢田恭、葛岡で子の五氏が『母の會』を組織し廣く同愛の同胞婦人界に呼びかける事となつたが、眞とに時宜に適した試みで將來健全なる發達が期待される。

## 講座

自然界に於ける

### 萬物相の關理（三）

（一疋の虫も一粒の種子もすべて獨自である事は出來ない）

○——○

◇蟻は種子の外被に油を含んで居つたり、食物となるべき成分を持つて居るものを非常に好いて居る、例へばすみれ、つるぼ、もくせいさう等の種子がそれである、通常蟻はその外被だけしか喰はない場合もあるから發芽には一向さしつかへた事柄ではないから、今更叙せられるのである、種子の散布に就て考へを運べば此の外に複雜なもの、一寸人の想像に上らないものは幾らもある、松、楓、其外の種子が風に身を任せ、ゐのこづち、やぶじらみの種子が動物の體に附着して遠くに運ばれる等、等の類は餘りに人々の間に詳しく知られ居る。

○——○

◇やがて海に親しむ機會が殖えて來ると、或は蟹の甲羅に、或は海老の背に藻の類が生えて居るのをよく見かける。

人間から考へて甚だうるささうであるが、生えて居る方では生きた乘物に乘つて諸方に運んで貰へる利益があり、生えられた方では外敵から身を隱すと云ふカモフラージュ的利益を受けて居るので、決して無用の出來事には成つて居ない。

○——○

◇更に甚だ思ひ切つた以上の關係を持續するものを擧げて見ると鰐と小鳥とがある、遠くギリシヤの昔へロドタスが既に是を觀察して居るが、陸上に這ひ上つた鰐が例の大きな口を明けて待つて居ると、小鳥が其歯の間に溜つた肉片とか小虫とかを喰ひに來る、鰐はおとなしく歯の掃除をして貰つて、其代りに小鳥から外敵其他の襲來を敎へられて居る、臆病な小鳥達が鋭い叫びを擧げて警告するまで安心し休息する事が出來る と云ふ相互利得である。

○——○

◇鰐と小鳥と云へば對照が少し隔絶して居るので人々は一寸珍しいものに思ふかも知れないが、彼の雀とか燕の類が人家のノキに巣を構へる樣になつたのも鰐のあぎとを覗く小鳥に較べて相劣らない冒險であつた事は誰しも氣がつく所であらう、何代かの間あらゆる危險を冒して彼等は人家近くに宿りを求めた、そして逢に志を遂げて其所に定着する事が出來る樣になつて見居るもの、いそぎんちやくの花びらの樣な手の中を隱れ家として居るものなど、類似のものは澤山ある、然し其中には相手に全然利益を與へる事なしに、自分一人の利益を貪つて居る場合も少くない、唯その區別をつける と云ふ點に甚だあいまいで困る時が少くないと云ふまでゞある。

○——○

◇其外にも家畜の背に降りて來て是を綺麗に掃除するもの、くらげの大きな傘の下に安息所を見つけて居るもの、鮫の群につき纏つて肉のお餘りを頂戴に及んで居るもの、いそぎんちやくの花びらの樣な手の中を隱れ家として居るものなど、類似のものは澤山ある、然し其中には相手に全然利益を與へる事なしに、自分一人の利益を貪つて居る場合も少くない、唯その區別をつける と云ふ點に甚だあいまいで困る時が少くないと云ふまでゞある。

## 人間の外道

○　人間の結婚生活は昔程樂であつたと考へられ、傳へられ、信ぜられて居りますが、若しこの『昔』と云ふ言葉が、人間の原始時代を指さないのなら、正にこの考へ方に誤りはありません。

耕すに土地があり、蒔くに種子があり實りがある、山には山の幸、海には海の幸、野には積りがあつた時即ち地積に對して人口が過剩を示さなかつた時には、天人共に長閑な生活があつたでせう。

○　そして、結婚生活と云ふが如きも欲すれば直ちに得られたでせうし、樣々の要因を綜合して人類の本能生活、經濟生活が誠とに圓滑に運んだと信ぜらるべき理由があります、ところが今日です、最早や吾々は過去の夢幻に醉つては居られません、欲すれば得られるなどとは思ひも寄らないところです。

○　現代社會生活の苦惱困惑の諸相は讀者よく是れを知てゐる學者もありますが、吾々は吾々の子孫をして、そのやうな淺間しい實相に直面させることが出來ませうか、考へねばならぬ事と思ひます。

## 四十年目に觀た日本の姿

クロード・ファレル

（6）

同樣にアビシニアに於て殘酷に壓迫されてゐた黑人たちの群は、殘酷でもなく兇暴でもなく、野蠻でもないイタリア人に服從して、忽ち大なる滿足を覺へたことであらう、それ等は人類にとつての明白な進歩である、私は自分一個の考へとしも、力限り喝采を送るものである

▽……

しかし、云ふ迄もなく、日本の場合に就ては、一つの問題が生ずる、少くとも二千年以前に文明化した日本國がイタリー、フランスイギリスなどの行つた通りを行ふ權利を有することは異論のない所だ、それはそうだかたとひ生命線の問題であらうとも、單に自分達の利益のみを名目とする侵略ばかりでなく、滿洲國に於ける惡夢の中でさへ想像し得ない樣な犠牲となつてゐたのだ、支那人は何人にも、何物にも似てゐない、彼等は個人的にはいかなる者よりも強い、彼等はよりよくより早く、より長く働く、彼等は稀に見る美德を持つてゐる、併し彼等は自分自身で治めることが出來ない、未だ曾て出來なかつた永久に出來ぬであらう、彼等は驚くべき大多數だ、然も彼等は永久に一國とはならぬだらう、これに依つて見れば、日本は支那に於て、何をなし得るであらうか

▽……

支那には人間が多過ぎる日本が有利な永久施設を行ふためには余りに勤勉な人間が多く住み過ぎてゐる、香々、支那に於ける日本は唯一つの大望を有するのみだ、即ち通商をなし得るやうに、支那が組織化され泰平となるとだ。

大なる幸福の名によつて、日本が干渉を行ふ權利を持つてゐるであらうか

▽……

滿洲國に就ては事實によつて議論の余地か消へてゐる殘る所は支那問題である之に關しても北京の舊い偉觀が眼にちらついて滿洲事變を理解し得なかつたヨーロッパに取つては遙かに甚だしく諒解が困難であらう

先づ根本原理として、斷じて日本は順調に組織された支那なるものに干渉したのではないといふことを擧げよう、日本はこの支那と共に新しき道を取つて行くであらう、それは支那に取つて幸福であると同時に、日本に取つて最大の幸福であらう

▽……

不幸にして支那は組織もなく順調でもない、何から何まで足らぬことばかりなのだ、私の同輩の一佛人の言葉の如く『支那は若干の淺ましい人間に率ゐられた英大な貧民の群』なのだ

中央政權が消滅するや否や、或は單に勢力を失ふや否や、忽ち支那には馬賊が出現して、信じ難い勢を以て擴がるのである、斯くして支那民衆は、略ぼ半世紀の間といふもの、靜穩なデエネヴァ市の國際聯盟の正直な連中などが思ひもよらぬ惡夢の中でさへ想像し得ない樣な犠牲となつてゐたのだ、支那人は何人にも、何物にも似てゐない、彼等は個人的にはいかなる者よりも強い、彼等はよりよくより早く、より長く働く、彼等は稀に見る美德を持つてゐる、併し彼等は自分自身で治めることが出來ない、未だ曾て出來なかつた永久に出來ぬであらう、彼等は驚くべき大多數だ、然も彼等は永久に一國とはならぬだらう、これに依つて見れば、日本は支那に於て、何をなし得るであらうか

▽……

支那には人間が多過ぎる日本が有利な永久施設を行ふためには余りに勤勉な人間が多く住み過ぎてゐる、香々、支那に於ける日本は唯一つの大望を有するのみだ、即ち通商をなし得るやうに、支那が組織化され泰平となるとだ。

## 同胞文化の温床

——受書と寸評——

●正金週報　横濱正金本店

REVISTA DOS CRIADORES

●黎明七月號　教育普及會新法令の實施と共に邦語教育難に直面せる同會當事者の焦慮と苦心は察するに余りがあり、本號に於てそれが充分窺はれ窃に當事者の勞を深謝するものであるが、特に石井氏の『新法令の實施に就て』を讀み『我々が、祖先から傳へられた美質を失はぬ樣にするには日本語を習ひ、日本人の氣分に親しみ日本の文化を味ふことがまた大切で、父兄としては是非共この考へを以て何處までも立派な第二世を育て上げる樣につとめねばならぬ』と云ふ壯烈な意氣に對し吾人は滿腔の敬意を表したい、同時に今後この『黎明』誌が負ふ任務の如何に尊くも重大なるかが知られ、前面に横はる荆棘の路開拓には一層元氣を出して奮闘されむことを祈るものである。卷頭坂根氏の『支那問題に就て』十五のごけがゴロ〳〵して捕いても捨てられないやうになつた時は、どうなるだらうかと云ふ事です。

『結婚といふものがなく、慾の滿足だけを計るべき時代が、健全な社會分子の間にも來る』と、かう提議してゐる學者もありますが、吾々は吾々の子孫をして、そのやうな淺間しい實相に直面させることが出來ませうか、考へねばならぬ事と思ひます。

●黎明七月號　カーザ東山一商社の刊行する機關紙としては珍らしく整つて内容が充實してゐる、その珈珈商況に關する記錄に至つては流石本職だけあつて當々たるもの、但し慾を云へば統計數字なんてものは余りシロトの興味を惹くものではない其れよりモット〳〵卑近で百姓に適切な啓發的實用文字が欲しい、併し『東山式』に吾が本分即經濟記事以外には他に一歩も踏み出さないと云ふ鐵則裡に『聖州景勝地案内』の如きは宛ら石部金吉か氣まぐれに鐵柵を乘り超え花見遊山に浮れ出した形で面白い。

●學生六七月號　學生聯盟さすが第二世達の編輯だけあつて葡語は手に入つたものだが半分位は日本語にしらたどうだ？

●ときのこゑ九月號　救世軍東本人部

カーザ東山
ノロエステ總代理店
間崎　三三一
プロミツソン郵函一六番
電話五〇番

薄利多賣
品質本位
◇味美しくて割の利くお醤油
黑島印醤油
製造人　黑島伊平治
北西線プロミツソン驛前

◇……いつでも、甘味しく
◇……御ゆつくり召上れる
白石食堂
アラサツーバ市

FABRICA DE RITSUO MORISIN
絹張日傘
優美にして安價、
G. KUNIY
國井商店
聖市　コンデ デ サルゼーダス街三五

大阪商船發着廣告
日本へ　北米經由　もんてびでお丸　Santos發九月八日　横濱着二月三日
北米經由　おでぢやねいろ丸　Santos發八月廿日　横濱着十月四日
日本へ　ケーもんてびでお丸　Santos發七月十六日　神戸發八月廿日
ブタウンより　ぶらた丸　Santos發八月三日　神戸發八月廿日　横濱着九月二日
細詳は弊社代理店へ又は下記下
サントス　ブラジル大阪商船會社
(Soc. de Nav. Osaka do Brasil Ltda.)
Rua Cidade do Toledo, 31 SANTOS
聖市　伯剌西爾大阪商船會社出張所
(Soc. de Nav. Osaka do Brasil Ltda.)
Filial de S. PAULO
Rua da Quitanda, 82 S. PAULO
リオ　Wilson Sons & Co. Ltda.
Avenida Rio Branco, 37